

スモールチェンジ・キャンペーンの推進

運動

食

団地

特定健診

健康づくり

認知症予防

介護予防

サポーター

その他

事業の概要

住民に健康的な生活習慣の大切さを理解してもらい、自発的に健康行動を選択・継続してもらえるよう、住民の健康行動への変容支援に向けた取組。

早稲田大学応用健康科学研究室(代表:竹中晃二教授)と連携を図り、ソーシャルマーケティングを基に町全体のヘルスプロモーションを展開している。

事業内容

- 健康づくり開発事業:スモールチェンジ・キャンペーンの推進(H21～)
「わずかなことから始めよう!スモールチェンジ」の啓発
「健康づくり開発委員会」の設立
健康情報新聞(健診ニュース)の配布

事業効果

- 集団健康診査受診者数の増加

その他

- 今後は「メンタルヘルス・プロモーション」についても啓発活動を広げていく。